

菅茶山 顕彰会 会報

第 29 号
発 行

菅茶山顕彰会
2019年3月31日



会 長 式 辞

菅茶山生誕 270年記念式典 式辞

菅茶山生誕270年祭実行委員長
菅茶山顕彰会会長 鵜野 謙二

「菊薫るかぎり 茶山の文化あり」

今年には菅茶山生誕270年にあたります。私たちは、神辺における文化・教育の先駆者菅茶山の遺芳・遺徳に学び、その顕彰活動を継承しています。その活動の一環として、生誕270年記念式典・講演会を皆様方と共にこのように開催できることをうれしく思います。さて、今年は異常気象で、各地で豪雨、台風等で多くの甚大な被害をもたらしました。廉塾も床下浸水の被害を受けました。しかし、復興支援ボランティア活動の報道を見ていると、菅茶山の思想（人間の生き方、教育の精神）を見る思いがします。

当時の菅茶山の儒学者・教育者としての存在感は、全国的な反響を呼び、多くの塾生が茶山を敬慕して廉塾を訪れました。彼等は「学種」すなわち「学問と文化の種」として大事に教育されました。国特別史跡「廉塾ならびに菅茶山旧宅」と「菅茶山関係資料」は、福山市・神辺町の宝です。

本日の講演は、岡野将士先生（広島県立歴史博物館主任学芸員）をお願いしています。長年にわたる「菅茶山関係資料」の調査・研究を通じて、菅茶山の人間性・感性、多くの文人・墨客との交流関係、菅茶山の事蹟等について詳しく拝聴していただけたと思います。

また、詩吟・詩舞を錦城流神辺支部の皆様をお願いしています。本日は、「当世随一の漢詩人」と高く評価された菅茶山とその弟子頼山陽の漢詩を朗詠・詩舞していただきます。映像による解説もあり、わかりやすく楽しく拝聴できると思います。

さらには、菅茶山生誕270年を記念して、来年3月2日（日）には、菅茶山と頼山陽の朗読劇「梅花の契り」の上演を予定しています。本日は公私ともにご多用中、ご臨席・ご参加くださいます心からお礼申し上げます。

菅茶山生誕270年祭実行委員会を代表いたしましたしてご挨拶いたします。

平成30年11月10日